



まちのできごと



↑旗の波運動運動の様子

4/10 春の全国交通安全運動「旗の波運動」 交通事故死ゼロを願い

春の全国交通安全運動にあわせて、早朝、役場庁舎前の国道沿いにおいて「旗の波運動」が行われ、町建設業協会やロータリークラブ、町職員など約160人が参加。交通安全の横断幕や旗を振り、ドライバーや通学児童に交通安全を呼びかけました。

また、4月26日に交通事故死ゼロ日数が2500日に到達し、雄武町が目標に掲げる3000日に近づきました。

町民の皆さんにおかれましては、これからも引き続き交通安全に対するご協力をお願いします。

4/13-14 地域猫活動 TNR 官民一体で取り組み

13日、14日の両日、町内の動物愛護団体「雄武多頭飼育崩壊救済グループ」が江別市の獣医師を招き、地域住民が捕獲・保護した野良猫など62匹に不妊手術を行いました。また、野良猫の増加に伴う糞尿などの環境被害を防ぐ事に繋がることから、手術費に対して雄武町が新設した「飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業補助金（詳細は本紙9ページ）」を支給。野良猫を捕獲し、手術後に地域猫として元の場所に戻す取り組みである「TNR（トラップ・ニューター・リターン）」を官民一体で進めました。主催団体の杉内まなみ代表は「このような機会を通して、猫の繁殖や環境被害などを抑える事に繋がるTNRの活動を多くの人に知ってもらい、取り組みとして普及していったほしい」と話しました。



↑活動の様子



↑意見交換会の様子

3/23 雄武町議会まちづくりに関する意見交換会 議員と町民が語り合う

この日、地域交流センターで議会基本条例に基づく初めての意見交換会が行われ、雄武町議会議員全10人と町民約20人が出席しました。会では、議会の活動報告の後に、議員と町民が3つのグループに分かれて雄武町のいいところや悪いところなどを挙げてもらうグループワークと質疑応答が行われ、図書館や病院などの公共施設に対する利用者目線での意見や国保病院の医師確保を心配する声などが寄せられました。橋詰議長は「これからも町民と意見交換する場を継続的に設けて、若い人たちにも参加してもらえるようにしたい」と話しました。

4/1 地域おこし協力隊 辞令交付式 新しい地域への力

役場庁舎で、地域おこし協力隊の辞令交付式が行われました。昨年着任した江田太一さんに加えて、新たに地域おこし協力隊員として着任した、柳原綾佳さん、白幡諒さんの3人に辞令書が交付されました。地域おこし協力隊制度は、地方自治体から委嘱を受け、地域で生活し、さまざまな地域協力活動を行っていく取り組みで、柳原さんは観光支援員、白幡さんは学校ICT支援員としてそれぞれ町の観光業や学校教育に携わります。



↑（左から）白幡諒さん、高橋町長、柳原綾佳さん、江田太一さん

4/2 教職員辞令交付式 教員15人に辞令交付

令和6年度雄武町教職員辞令交付式が町民センターで行われました。式では、転入・新採用教職員に対して、豊田教育長から辞令交付書が交付され、教職員の皆さんは一樣に引き締まった表情を見せていました。雄武小学校教諭として新採用された伊藤充直さんが代表し「教育に従事する公務員として、誠実かつ公正に職務をまっとうすることを誓います」と宣誓書を読み上げ、教職員としての自覚と決意を新たにしていました。



↑宣誓を行う伊藤教諭

↓大きな声で手遊び歌を歌う入園児たち



4/1 保育所入所式 初めての集団生活

若草保育所で入所式が行われ、新入園児21人を含む61人が入所しました。式ではこども未来室の武藤知憲室長が「早くたくさん友達を作り、楽しく仲良く過ごしましょう」とあいさつ。初めての集団生活に心配そうな表情を見せる保護者もいましたが、子どもたちは手を大きく挙げて、とびきり元気な声で「はい」と保育士の点呼に答えました。式の最後には、皆で機関車トーマスの手遊び歌などを歌い、集団生活をスタートさせました。

↓6年生と入場する児童



4/8 町内小学校入学式 新生活にドキドキ

この日、町内各小学校で入学式が挙行政され、23人の児童が新生活をスタートさせました。雄武小学校では、18人の新入学児童が仲間入り。式では、6年生のお兄さんお姉さんが新1年生と手をつないで一緒に入場し、式の参加者たちは大きな拍手と笑顔で歓迎しました。新1年生たちは緊張した面持ちでしたが、児童紹介で名前を呼ばれると元気な声で返事をしており、これから始まる学校生活に期待と希望を膨らませているようでした。